

第64回全国植樹祭鳥取県準備委員会(第2回)

日時：平成21年11月5日(木)午前10時30分～11時50分

会場：とりぎん文化会館「第3会議室」

鹿田委員長あいさつ

- ・ 全国植樹祭がどういうものであるのか映像で紹介
- ・ 12月までにもう一度準備委員会を開催しそこで開催候補地を決定してもらいたい。
- ・ 来年3月までに基本方針の素案を作って準備委員会を終わらせたい。

協議事項1 全国植樹祭の概要について事務局説明

(意見等特になし)

協議事項2 全国植樹祭の開催において考慮すべき事項について事務局説明

(意見等特になし)

協議事項3 全国植樹祭会場の跡地利用について事務局説明

(意見等特になし)

協議事項4 全国植樹祭における環境配慮について事務局説明

(主な意見)

- ・ 環境配慮の全国植樹祭とするなら小規模にするのが効果的、地域への経済効果を考えると大規模にするのが良いが、どの程度の規模にするのか検討が必要
- ・ 物販会場において、ゴミの持ち帰りの徹底、マイハシやエコバッグの持ち込み等、呼びかけも必要

協議事項5 第64回全国植樹祭の開催候補地の検討について事務局説明

(主な意見)

- ・中部地域は大型イベントの開催が少ない。観光・文化・歴史面では「船上山」での開催が適当。地域性を考慮した評価を追加してほしい。
- ・植樹祭で植えた木がどう育っているのかを確認できなければ、次代を担う小学生への教育的意義はない。会場の跡地利用も考えてほしい。
- ・過去の例(インターハイ)からすると、「一向平」や「船上山」は大型バスのアクセスが悪い。
- ・緊急時に対応できる道路確保の検討が必要
- ・大型イベントの主会場として「船上山」は不適。施設改修で対応しても、後々評価されるかどうかは疑問。体験活動重視の地域会場とすれば、我々も参加したい。

鹿田委員長

- ・今回出された意見等について事務局で精査・検討の上、次回の委員会(12月下旬予定)で再度説明

小谷副委員長あいさつ

- ・県財政も逼迫。そのような状況も踏まえながら検討を加えてもらいたい。
- ・会場候補地に、各地域から要望があることも承知。決定すれば、県民一体となって植樹祭が遂行され、成功させることが肝要